

越谷市日本文化伝承の館 「こしがや能楽堂」だより

平成29年
11月号

こしがや能楽堂 11月の催し物 ご案内 (主催者の都合により、開催日・内容等を変更する場合があります。)

催 物 名	開 催 日	内 容	主 催 者	入 場 料
足袋nce@能楽堂	11月3日(金、祝) 午後2時開演	コンテンポラリーダンスと狂言「首引」	埼玉県舞踊協会・「コレオグラファーの目」実行委員会	一般2,500円 学生も同額
芸術文化展覧会 華道・盆栽展	11月11日(土)～14日(火) 午前10時～午後4時	生け花・盆栽の展示	(公財)越谷市施設管理公社	無料



能舞台

大人の趣味と教養シリーズ「正月生け花教室」の受講生を募集いたします。

こしがや能楽堂では、日本伝統文化である「華道」を、気軽にお正月向けの生け花として体験していただく生け花教室の受講生を募集いたします。開催日時は、12月24日(日)、時間は午前10時から正午まで、会場は能楽堂の和室を利用します。参加費(教材費等)は、2,000円、先着20名(16歳以上)まで募集します。詳しいことは、こしがや能楽堂までお問合せください。申し込み受付日 11月10日(金)午前9時から 電話番号048-964-8700

記念スタンプ欄

足袋の色には決まりがある

能楽トリビア

現在、能の公演ではシテ方などの役者だけでなく、地謡や囃子方も皆白足袋を着用します。いつからかの正確な記録はありませんが、江戸時代以前には色足袋だったようです。その名残か、狂言では現在でも色足袋も用いられます。また公演時だけでなく、稽古の段階から装束はつけなくとも白足袋をはきます。舞台は神聖なものであり、決して素足や靴下であがることは許されません。

出典:the能ドットコム(<http://www.the-noh.com/jp/>)



イラスト©坂本浩子

- ◇ 住 所:越谷市花田六丁目6番地1
- ◇ 電 話:048-964-8700
- ◇ FAX:048-964-8622
- ◇ ホームページアドレス <http://nohgakudou.koshi-kannri.com/>
- ◇ 開館時間:午前9時～午後9時30分
- ◇ 休館日:毎週水曜日(祝日にあたるときは、その翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
- ◇ 能楽堂の見学は無料です。

こしがや能楽堂

検索

交 通 機 関	
東武スカイツリーライン・地下鉄日比谷線・半蔵門線・JR武蔵野線	
新越谷駅・南越谷駅	越谷駅
北口から	東口(北側ロータリー)から
花田行き又は市立図書館行き	花田循環又は市立図書館行き
花田苑入口下車	花田苑入口下車